

これからの人生を楽しく軽やかに生きるため 「お金にまつわる不安」を解消しましょう

「70歳」はまだまだ若い
長い人生を乗り切る方法を考えましょう

「老後」とは、いったい何歳以降のことを指すのでしょうか？ 一般的には「65歳以降」あるいは「70歳以降」くらいをイメージしている方が多いようです。しかし、「人生100年時代」を迎えた今、70歳はまだまだ「若い」と考えていいと思っ

ています。実際、昭和の70歳と令和の70歳とを比較すれば、大多数の人が、精神的にも肉体的にも驚くほど若い状態を保っておられます。

企業の定年が延びる、あるいは廃止される傾向が強まっているとはいえ、やはり多くの人が、60歳から70歳くらいまでに、それまでの職場を離れ

ることになります。つまり「まだ若い」にもかかわらず、収入が大幅に減るときが来るといいうことです。もちろん年金の受給年齢に達するため、ある程度の収入は見込めますが、それが支出を下回っている場合、預貯金を取り崩さなければならなくなります。

専業主婦、あるいはパートなどをしながら過ごしてきた女性の中には、配偶者が退職して収入が減った状態で、その後どう暮らしていけばいいのか、「漠然とした不安」を抱えている方も多いでしょう。なぜなら、仮に90歳まで生きるとしたら、最低でも90歳までの「生活費」を確保しなければならぬからです。本書では、そのための具体的な方法や考え方を紹介していきます。

「老後資金」の目安



！あくまでも目安ですが、夫婦で受け取る年金がひと月約22万円で、ひと月の支出が約27万円だった場合、毎月約5万円足りなくなる計算です。「意外と大したことないな。それくらいなんとかなるだろう……」と思われた方も多いのではないのでしょうか？！